

第78号（2011年1月発行） 目次

■特集 メディア文化研究の課題と展望

特集に寄せて	加藤晴明
メディアはなぜあるのか	長谷正人
なぜ「メディア文化研究」なのか	難波功士
メディアとしての…	長谷川一
— 暗黙知、枠組み、コンテキスト・マーカー	
ポピュラー音楽から考えるメディア文化研究	小泉恭子
— フォーク酒場のフィールドワークを糸口に	
「メディア文化」にとって「現実」とはなにか	成田康昭
マス・メディア生産現場の文化	林田真心子
— テレビカメラと送り手に関するメディア論的研究をめぐって	

■論文

人物評論の時代®	大澤 聡
— 一九三〇年代日本のジャーナリズムにおける固有名消費	
『女学世界』にみる読者共同体の成立過程とその変容®	嵯峨景子
— 大正期における「ロマンティック」な共同体の生成と衰退を中心に	
インターネット掲示板においてテレビ番組はどのように語られるのか®	山本 明
「文学としての葉書」®	金 暲和
— 日露戦争期の『ハガキ文学』を事例にしたメディア論の試み	
「真正の輿論」とは何か? 1930年代初期の中国の場合®	齋藤俊博
『日露戦争実記』における視覚の構成®	大久保遼
— 誌面構成・従軍写真班・活動写真	
テレビをめぐる時間構造とその変容®	古川柳子
— アナログ/デジタル技術と生番組のかたちの関係史を軸に	

■2012年度春季研究発表会ワークショップ報告

1 放送ジャーナリズムから論じる日本版FCC	記録 金山 勉
— 憲法の要請に立ち返って	
2 メディア・アカウンタビリティと公表行為の自由に関する理論的検討	記録 野原 仁
3 インターネット時代のジャーナリスト教育の課題と可能性	記録 橋場 義之
4 語られた歴史とメディア? 聞き取り、取材、インタビュー再考	記録 野上 元
5 市民社会メディア研究の歴史と課題	記録 池田 佳代
— 世界の中の日本	
6 放送とローカリズム	記録 境 真理子
— 地域貢献の可能性と課題	
7 デジタル時代の放送法制	記録 山田 健太
— 「日本版FCC」議論をめぐって	
8 ジャーナリズムの倫理と“フリーランス”の役割	記録 林 香里

- 9 激変する米国メディア界とジャーナリズム教育の変化
- 10 地域社会とメディア史研究
- 11 災害と住民ジャーナリズム
——兵庫県作用町水害の事例から

記録 林 恭一
記録 福間 良明
記録 黒田 勇

■研究会の記録（2010年4月～11月）

メディア空間とデザイン

ジャーナリズム研究とジャーナリスト/ジャーナリズムの間(2)

——社会運動としての“ジャーナリズム・リテラシー”教育

メディアスポーツを考える

複製芸術論を考える —— ベンヤミンの/からの時差

ドイツのメディア倫理をめぐる最近の議論状況

- 日本マス・コミュニケーション学会『マス・コミュニケーション研究』投稿規程
- 日本マス・コミュニケーション学会『マス・コミュニケーション研究』執筆要領
- 英文抄録